

2024年11月25日
株式会社みずほ銀行

株式会社トレードワルツへの出資について ～貿易業務の完全電子化に向けた取り組み～

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、このたび、ブロックチェーン技術を活用した貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz®」の開発・サービス提供を行う株式会社トレードワルツ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐藤 高廣、以下「トレードワルツ」）に出資しました。

トレードワルツは、株式会社 NTT データのほか、商社・物流など貿易業務に関わる各業界を代表する企業の共同出資によって設立され、2020年11月の事業開始以降、「TradeWaltz®」のサービス提供を通じて貿易業務に関わる電子化・効率化に取り組んでいます。

みずほ銀行としても、2024年1月に日本ーベトナム間の貿易業務効率化に向けた実証実験を共同で行う[※]など、同社との関係を深めてきました。

みずほ銀行は、今回の出資を機に、トレードワルツと3メガバンク共同の金融ワーキンググループに参画します。〈みずほ〉が持つ貿易金融に係る知見・ノウハウや各種ネットワークの提供を通じ、「TradeWaltz®」の金融サービス機能のレベルアップを支援することで、紙に依存した煩雑で非効率な貿易業務の課題を解消し、貿易の完全電子化の実現をともにめざします。

今後も〈みずほ〉は、貿易業務の電子化・効率化の取り組みを推進するとともに、日本・アジアの経済成長に向けて、トランザクションバンキングビジネスにも一層注力していきます。

（※）2024年2月28日ニュースリリース：

日本ーベトナム間の貿易業務効率化に向けた実証実験への参加について

https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20240228release_jp.pdf

以 上